



B

5

688



上羽勝衛編纂

小學地理書

前編

全三冊

明治七年十月

共耕社藏



小學地理書之設編小學均

音重於此在學中為

最要之書也上小學元棟

民而教之者宜先為之

其分或為未多如故也  
友好釋一病此篇弱提  
其多復可學之復故能  
因強以勉大者之學也  
幼童也強之科一未必

世之補云一補

明治七年八月

上海德和後

清海人書



小學地理書卷一

地球

上羽勝衛 編纂

問地球ハ如何ナル物ゾヤ

答吾輩ノ居住スル所ノ大地ニシテ其形  
圓クシテ球ノ如シ故ニ地球ト云フナリ  
地球ノ大サハ如何ン

周圍一萬零百九十三里餘ニシテ圓徑三  
千二百四十七里アリ

地球ハ全ク正圓ナルヤ

南北極ノ方少シク平匾ニシテ、橢圓ヲ為セリ、故ニ東西ノ圓徑ハ、三千二百四十七里ナレバ、南北ハ、三千二百三十六里餘ナリ、然レ其差ヒ僅少ナルユヘ、之ヲ圓形ト云フモ可ナリ、

面積ハ如何シ

三千三百零七万九千四百方里アリ、陸地ハ、其四分ノ一ニシテ、海面ハ、四分ノ三ナ

地球儀ハ如何ナル物ゾヤ

地球ノ雛形ヲ製シ、机上ニ架シ、海陸各國ノ位置ヲ示シ、且ツ地理學ニ有用ナル線ノ種類ヲ知ラシムル物ナリ、

地球儀ノ方位ハ如何シ

上ノ方ヲ北トシ、下ヲ南トシ、右手ノ方ヲ東トシ、左手ノ方ヲ西トス、

地球ノ大陸ヲ幾箇ニ大別スルヤ

五ツニ別テリ、ア亞細亞洲、エ歐羅巴洲、ヤ亞弗利加洲、セ亞米利加洲、テ阿西亞尼亞洲ト云フ

東半球西半球トハ何ノ謂ゾヤ  
地球圖ニ東ノ半面ヲ示シタルヲ東半球ト云ヒ、西半面ヲ示シタルヲ西半球ト云フ、

經緯線ハ如何ナル物ゾヤ  
南北ニ引キタルヲ經線ト云ヒ、東西ニ引キタルヲ緯線ト云フ、

二線ノ數幾箇アルヤ

各三百六十線アリ、線ノ互ヒノ間ヲ一度トシ、一度ヲ分ツテ六十分トス、故ニ地球ノ周圍ハ、三百六十度ナリ、

二線ノ互ヒノ距離ハ各處皆同キヤ

經線ハ、皆兩極ニ集ル、故ニ南北ニ偏スルニ隨ヒ、其距離大ニ相違アリ、緯線ハ、東西ニ平行ス、故ニ各處ノ距離皆同シ、

赤道線トハ何ゾヤ

地球南北ノ正中ヲ横截シテ、東西ニ畫シ  
タル、一大緯線ヲ云フ、

經緯線ハ何ノ為ニ設クルヤ

地球上各處ノ位置距離ハ、二線ヲ數ヘテ  
之ヲ定ム、

二線ヲ數フルノ方如何シ

經線ノ度ヲ數フルハ、其本トスル所、天然  
ノ定リナシ、故ニ日本ニテハ、東京ヲ零度  
トシ、東西ニ數フルナリ、假如バ東京ヨリ

東ノ方ヘ四線ヲ隔ツレハ、東經四度ト云  
ヒ、西ヘ五線半ヲ隔ツレバ、西經五度三十  
分ト云フ、緯度ヲ數フルハ、赤道ヲ零度ト  
シ、南北ニ數フルナリ、假如バ赤道ヨリ北  
ノ方ヘ十線ヲ隔ツレバ、北緯十度ト云ヒ  
南ヘ二十線餘ヲ隔ツレハ、南緯二十度何  
分ト云フ、是二線ヲ數ヘテ各地ノ位置距  
離ヲ定ルノ法ナリ、

夏至線冬至線トハ何ゾヤ

赤道ヨリ南北ニ偏シ、各二十三度半ノ處ニ線アリ、之ヲ二至線ト云フ、北ニ在ルヲ夏至線トシ、南ニ在ルヲ冬至線トス、

北極圈南極圈トハ何ゾヤ

兩極ヨリ南北各二十三度半ノ處ニ線アリ、之ヲ極圈ト云フ、北ニ在ルヲ北極圈トシ、南ニ在ルヲ南極圈トス、

地球ノ五帶トハ何ゾヤ

二至線ノ間氣候極メテ熱シ、故ニ此處ヲ

熱帶ノ地ト云フ、二極圈ト二極ノ間、氣候極メテ寒シ、故ニ寒帶ノ地ト云フ、二極圈ト二至線ノ間、氣候中和ナリ、故ニ中帶、又ハ溫帶ノ地ト云フ、中帶ノ地ハ地球上幸福ノ地方ト云フベシ、然レ凡山海ノ形勢ニヨツテ、各處少シク異同ナキコト能ハザルナリ、

大洲トハ何ゾヤ

陸地ノ大ナル者ヲ云フナリ、亞細亞、歐羅



巴等ノ如キ是ナリ

大洋トハ何ゾヤ

大洲ノ間、在ル、廣大ナル海水ヲ云ナリ、太平洋、大西洋、印度洋、北氷洋、南氷洋是ナリ、  
鳴トハ何ゾヤ

水ノ四方ヲ圍ミタル地ヲ云フ、大洲ト形  
チヲ同クスレバ、只其小ナルヲ以テ名ヲ  
異ニス、日本、英吉利、其他印度洋諸島ノ如  
キ、是ナリ、

半島トハ何ゾヤ

地ノ海中ニ突出テ、只一方大陸ニ連ナル  
ヲ云フ、伊太利、亞拉比亞、朝鮮等ノ如キ、是  
ナリ、

群島トハ何ゾヤ

數多ノ小島、海面ニ碁布スルヲ云フ、

地峽トハ何ゾヤ

二大陸ヲ連合スル狭キ地ヲ云フ、蘇士、巴  
那馬、ノ如キ、是ナリ、

岬ト巽トハ何ノ別チアルヤ

平地ノ海中ニ突出タルヲ岬又ハ海角ト云フ、高キ陸地、或ハ山ノ海中ニ突出タル、巽又ハ岬ト云フ、

濱トハ何ゾヤ

陸地ノ長ク海ニ浴ヒタルヲ云

山ト丘陵トハ何ノ別チアルヤ

陸地ノ高峻ナルヲ山ト云フ、其頂直立ニ万九千尺ニ達スルモノ有リ、山ノ小ニシ

テ低キヲ丘陵ト云フ

山脈トハ何ゾヤ

山ノ集テ長ク連続スルヲ云フ、數百里、或ハ數千里ニ跨ルモノ有リ、

高原トハ何ゾヤ

陸地ノ高キコト、山ノ如クニシテ、上平坦ナルヲ云フ、海面ヲ抜グコト、一万三千尺ニ至ルモノ有リ、西藏ノ如キ地方、是ナリ、  
沙漠トハ何ゾヤ

沙磧硫磺ノ瘠土ニシテ草木ヲ生ゼザル  
ヲ云フ、亞弗利加ノ内地、及ヒ亞拉比亞、支  
那ノ北部等、大沙漠有リ、

火山トハ何ゾヤ

山頂又山脊ニ穴アリテ、絶ヘス火烟ヲ噴  
キ出スヲ云フ、時アツテ沙石ヲ噴キ、近傍  
ノ地、害ヲ被ルコト有リ、

海トハ何ゾヤ

大洋ノ一部ニシテ、其少ナルモノ及ヒ陸

ニ近接スル處ヲ云フ、日本海、地中海、等ノ  
如キ、是ナリ、洋海時アツテハ混稱ス、海陸  
ト稱スル時ノ如キ、是ナリ、  
灣ト港トハ何ノ分チアルヤ

海水ノ彎形ヲ爲シ、陸地ニ深ク入りタル  
處ヲ灣ト云フ、墨西哥灣、孟加拉灣、ノ如キ  
是ナリ、灣ノ小ナルヲ港ト云フ、

湊トハ何ゾヤ

船舶ノ碇泊スルニ宜キ港ニテ其岸上ハ  
荷物ノ運送ニ便利ナル處ヲ云フ、通常港ト  
混稱ス

暗礁トハ何ゾヤ

岩石、或ハ小ナル島嶼ノ、海面ヨリ下ニ在  
ルヲ云フ、

海峡トハ何ゾヤ

兩陸ノ間ニアル、狹キ海水ニシテ、其兩端  
大洋ニ連ルヲ云フ、

湖トハ何ゾヤ

陸地ノ全ク四面ヲ圍ミタル水ヲ云フ、其  
塩分ヲ含ムヲ、鹹湖ト云フ、裏海、アラ拉湖ノ

如キ、其最モ大ナルモノナリ、

河トハ何ゾヤ

陸地ノ間ヲ流ル、水ヲ云フ、其源ハ山谷  
間ヨリ流出スル小泉ニシテ、相合フテ河  
流ヲナシ、海ニ入ル「ミツシッピ」「アマソ子」  
ノ如キ、其最大ナルモノナリ、

瀑布トハ何ゾヤ

河水ノ高地ヨリ、低地へ飛流スルヲ云フ、  
地球ノ人口ハ如何ン

侯士展氏ノ説ニ據レハ、大約十億零二百萬人ナリ、

人種ハ如何ン

五種ニ大別ス、亞細亞種、一名蒙歐羅巴種、

一名高加爾各答種、一名巫來由種、一名亞米利加種、一名亞非利加種、

一名亞細亞種、一名是ナリ、

亞細亞種ハ如何ン

頭顱稍方ニシテ、顔面平廣、顴骨秀テ鼻高カラズ、皮膚黄色ヲ帯ビ、髮漆黒ナル多ク

身體長大ナラズ

歐羅巴種ハ如何ン

頭顱正圓ニ近ク前額直立シ鼻隆クシテ

其起ル處高シ身體長大皮膚白色ニシテ

淡紅ヲ帯ビ髮多クハ黄色ニシテ眼睛碧

色ヲ帯ブ

巫來由種ハ如何ン

頭頂稍狭ク面廣ク顴骨秀テ甚ダ亞細亞種

ニ似タリ

亞米利加種ハ如何ン

骨格稍亞細亞種ニ近ク、顴骨秀デ面廣シ、然レ平ナラズ、目陷リ鼻廣クシテ高ク、色赤クシテ銅ノ如シ、

亞非利加種ハ如何ン

顱骨狭ク、鼻低廣ニシテ、口唇甚厚ク且大ナリ、皮膚漆黒ニシテ髮縮卷ス

亞細亞洲

問亞細亞ノ位置ハ如何ン

北緯一度二十二分ヨリ、七十八度二十五分ニ至リ、西經百十三度四十一分ヨリ、東經五十三度十五分ニ至ル、大約南北二千二百里、東西二千七百餘里アリ、

境界ハ如何ン

東ハ太平洋、北ハ北氷洋、南ハ印度洋ニ面シ、西ハ烏拉山、裏海、黑海、ヲ以テ歐羅巴ニ

界ス

面積ハ如何ン

二百九十三万八千五百三十方里ニシ、地球陸地三分ノ一アリ、

土地ハ如何ン

東西ニ亘リタル、中央ノ地勢甚高ク、平地ト雖、凡一万二千尺ヲ出ル處アリ、南部ハ稍低ク、北部ハ次第ニ低下シ、廣大ノ平原ヲナス、西部及ヒ支那ノ北部、大沙漠アリ、

東南ハ沃野多ク産物夥シ、

高山ハ如何ン

西藏ノ喜馬拉山ハ直立二万九千尺アリ、地球第一ノ高山ナリ、其他崑崙、アラ、ツト、ノ如キ、皆一万八千尺ヲ下ラズ、

大河ハ如何ン

支那ノ揚子江ハ千三百里、黄河ハ千零六十里、西比利亞ノ葉尼塞ハ千百九十里、烏彌ハ千零四十里、勒拿ハ九百八十里、滿州

ノ墨龍江ハ、九百四十八里アリ、

區分ハ如何ン

十一國ニ大別ス、日本、支那、後印度、前印度、土耳其坦、亞加業坦、皮路直坦、比耳西亞、亞拉比亞、西比利等是ナリ、

獨立國ハ如何ン

六國アリ、日本、支那、比耳西亞、及ヒ後印度ノ中暹羅、緬甸、安南等是ナリ、餘ハ分裂シテ、完全ノ國ヲ為サズ、或ハ支那ニ屬シ、或

ハ歐洲諸國ニ屬ス



日本國

問我日本國ノ位置ハ如何シ

答亞細亞洲ノ東部ニ在リ、北緯三十一度ヨリ、五十度ニ至リ、西經十度ヨリ、東經十度ニ達ス、長大約七百里餘、幅三十里ヨリ六十里ニ至ル、

境界ハ如何シ

東南ハ、太平洋ニ面シ、西北ハ、支那海、日本海ヲ隔テ、清國、朝鮮、及ビ滿州ト相對シ、北

隅ノ樺太ハ、魯西亜ト界ヲ交エ、西南隅ノ  
琉球ハ、臺灣ト遙ニ相望ム、

面積ハ如何ン

二万三千七百三十方里アリ

土地ハ如何ン

五箇ノ大島、及ビ數多ノ小島ヲ合セテ國  
ヲ為ス、中央ニ在ルヲ本土トシ、南ニ在ル  
ヲ四國トシ、西ニ在ルヲ九州トシ、北ニ在  
ルヲ北海道及ヒ樺太トス、地形狹長ニシ

テ蜻蜒ノ斜ニ飛フガ如シ、故ニ古昔蜻蜒  
洲ノ名アリ、山脈北ヨリ起テ、國中ヲ貫キ、  
西ニ達シ、其間起伏一ナラズ、故ニ高山多  
クシテ、廣濶ナル平野少シ、然ルニ土地膏腴  
ニシテ、產物豐饒ナリ、

高山ハ如何ン

最著名ナルハ、駿河ノ富士ナリ、直立一万  
四千百四十尺アリ、絶頂ハ常ニ雪ヲ戴ク、  
各處ヨリ之ヲ望ムニ、其形變ルコトナシ、

其他羽前ニ月山アリ、羽後ニ鳥海山アリ、  
陸奥ニ岩城山アリ、常陸ニ筑波山アリ、信  
濃ニ淺間山アリ、御嶽アリ、加賀ニ白山ア  
リ、越中ニ立山アリ、肥前ニ温泉岳アリ、肥  
後ニ阿蘇山アリ、日向ニ霧島山アリ、皆有  
名ノ高山ナリ、  
噴火山ハ如何ン

火山少ナカラズ、淺間山、阿蘇山、伊豆ノ大  
島ノ如キ是ナリ、富士山モ、往時ハ噴火山

タリ、山頂大洞アリ、古噴火セル處ナリト  
云フ、寶永四年山頂大ニ灰石ヲ噴出シ、其  
東腹ニ一山ヲ生シ、形附贅ノ如シ、之ヲ寶  
永山ト名ク、今ヲ去ルコト百六十七年ナ  
リ、天明三年北海道ノ内ニテ、大ニ噴火シ、  
二十三箇ノ村落ヲ陥没セリ、今ヲ去ルコ  
ト九十一年ナリ、寛政四年温泉嶽大ニ噴  
火シ、附屬ノ山崩裂シテ海ヲ填メ、數十箇  
ノ小島ヲ生ス、海水之ガ為メニ怒起シ、漁

舟商船覆没スルモノ數ヲ知ラズ、死スル者五万三千餘人、今ヲ去ルコト八十二年ナリ、其他害ヲ受ルコト屢ク之アリ、大河ハ如何ン

内地高山多キヲ以テ、川源ニ乏シカラズト雖モ、地形狹長ナルユヘ、長大ナル河流ヲ為スニ至ラズ、其中利根川ハ源ヲ野州ニ發シ、二汎ニ分チ、一ハ下總ヲ經テ、東海ニ注ク、其口ヲ銚子口ト云フ、一ハ武州品

川港ニ注ク、之ヲ小利根ト云フ、信濃川ハ源ヲ信濃ニ發シ、越後ニ入り、新潟港ニ注ク、木曾川ハ、亦源ヲ信濃ニ發シ、美濃ヲ貫キ、尾張ニ入り、伊勢桑名港ニ注ク、是ヲ三大河ト稱ス、其他武藏ニ隅田川アリ、相模ニ馬入川アリ、駿河ニ富士川アリ、遠江ニ大井川天龍川アリ、山城ニ淀川アリ、岩代ニ阿武隈川アリ、陸中ニ北上川アリ、羽前ニ最上川アリ、紀伊ニ紀ノ川アリ、阿波ニ

吉野川アリ、筑後ニ筑後川アリ、石狩ニ石狩川アリ、是又其次ナリ、

湖水ハ如何ン

近江ノ琵琶湖ヲ以テ、最大ナル者トス、其形琵琶ノ如シ、故ニ名ク長サ凡十八里餘、幅甚狹シ、中ニ小島數箇アリ、奥島竹生島、ヲ稍大ナルモノトス、其支派余吾ノ湖トナル、常陸ノ霞浦、下總ノ印幡、信濃ノ諏訪、岩代ノ猪苗代、出雲ノ松江等ノ如キ、之ニ

灣ハ如何ン

次クモノトス、其他北海道ニ數箇アリ、渡島ノ大沼、石狩ノ丹根、良運、釧路ノ阿寒、久摺、摩周當路、樺太ノ縫江、辨連、戸是ナリ、釧路ノ久摺湖ハ、中ニ島アリテ、火焰ヲ噴キ、夜間モ晝ノ如シ、其小ナルハ數フベカラス、  
東海道ニ品川ノ灣、駿河ノ灣、伊勢ノ灣アリ、東山道ニ松島ノ灣、陸奥ノ灣、八郎瀉ノ



岬ハ如何ン

上總ニ富津岬、下總ニ犬吠岬、遠江ニ御前  
岬、志摩ニ大王岬、陸奥ニ尻矢岬、羽後ニ鳥  
井岬、能登ニ珠洲岬、紀伊ニ汐岬、伊豫ニ串  
浦岬、豊後ニ嗟峨關岬、日向ニ襟藻岬、北見  
ニ知床岬、樺太ニ白主、知床、真知床、ノ三岬  
アリ、其小ナルハ數フベカラズ、  
海峡ハ如何ン

阿波淡路ノ間ニ鳴門峽アリ、海水相捲テ

螺旋ノ狀ヲ為シ岩石ニ激シテ響キ雷ノ  
如シ行舟若シ誤テ之ニ觸レハ萬ニ一モ  
脱スル能ハズ實ニ本邦第一ノ險峽ナリ  
其他紀伊阿波ノ間ニ紀伊峽アリ紀伊淡  
路ノ間ニ苔島峽トマガシマアリ淡路播磨ノ間ニ岩  
屋峽アリ伊豫豊後ノ間ニ豊後峽アリ長  
門豊前ノ間ニ赤間關峽アリ陸奥渡島ノ  
間ニ津輕峽アリ北見樺太ノ間ニ知主峽  
アリ

鑛山ハ如何シ

其數甚多シ、最著名ナル者ハ、佐渡、相川ノ  
金銀山、陸中小坂ノ銀山、但馬生野ノ銀山  
トス、其他金山八十一所、銀山百十五所、諸  
鑛山千二百五十所アリ、

島嶼ノ數ハ如何シ

三千八百三十餘ナリ、其大ナルハ伊豆ニ  
大島、三宅島、八丈島、アリ、其東南ニ小笠原  
島アリ、南海道ニ淡路アリ、大隅ニ種子島、

屋久島、永良部島アリ、其南ニ琉球アリ、肥  
後ニ天草、肥前ニ平戸、五島、其北ニ壹岐、對  
馬、アリ、西北海ニ隱岐、佐渡、アリ、北海道ニ  
千島アリ、

氣候ハ如何シ

温帯ノ中ニ在リト雖モ、同緯度ノ他邦ニ  
比スレバ、寒暑共ニ甚シ、然モ地勢ニ從ヒ、  
甚、同シカラズ、畿内ハ、風少ク、寒温宜ク得、  
東海道ハ、概テ温和ニシテ、風多シ、東山道



ハ寒冷ナリ、其岩代以北ノ地ハ、冬時冰雪凝積シテ、春ノ半ヲ過キ、漸ク消ユ、兩羽ノ地ハ、寒威殊ニ烈ク、風力甚強シ、動モスレバ、屋ヲ撒ス、北陸道ハ、寒時寒暑表氷点ヨリ下ルコト、六七度ニシテ、熱時ハ、九十度以上ニ至ル、風強クシテ雪多シ、北越ノ山中ハ、一歳ノ中、七八箇月ノ間、冰雪ヲ見ル所アリ、山陰道ハ、寒暑共ニ強ク、大抵北陸ト相似タリ、山陽道ハ、温和ニシテ風少シ、

畿内ト相似タリ、南海道ハ、温暖ナリ、高野ニアラザレバ、雪ヲ積マス、夏時ハ、頗ル熱シ、然レ夜ニ至テ暑ヲ洗フノ涼風アリ、西海道ハ、暖多シテ寒少シ、其南方ハ、暑甚シ、北海道ハ、寒威酷烈ナリ、盛夏ニアラザレバ、單衣ヲ着ケズ、五六月ノ頃、雪融ルニ及テ、花木一齊ニ花サク、要スル南岸ノ諸國ハ、暖ニシテ、北岸ノ諸國ハ、寒強シ、同緯度ノ他邦ヨリ、寒暑共ニ甚シト雖レ、熱帶温

帶ノ諸産物生ゼザルモノナシ

人種ハ如何ン

亞細亞種ニ属シ、顴骨高ク、頭顱廣ク、髮黒クシテ長シ、皮膚黄色ヲ帶ズ、或ハ白色ナルアリ、身體稍小ナリト雖モ、甚強健ナリ、性伶俐ニシテ義勇アリ、

人口ハ如何ン

三千三百十六万九千八百人アリ

區分ハ如何ン

大分シテ畿内八道トシ、又分テ八十四州トス、州ヲ分テ郡トシ、其數大凡七百二十四箇アリ、郡ヲ分テ村トシ、其數六万三千六百餘箇アリ、

畿内五國

山城 大和 河内 和泉 攝津

東海道十五國

伊賀 伊勢 志摩 尾張 叅河  
遠江 駿河 甲斐 伊豆 相摸

武藏 安房 上總 下總 常陸

東山道十三國

近江 美濃 飛彈 信濃 上野

下野 岩代 磐城 陸前 陸中

陸奥 羽前 羽後

北陸道七國

若狹 越前 加賀 能登 越中

越後 佐渡

山陰道八國

丹波 丹後 但馬 因幡 伯耆

出雲 石見 隱岐

山陽道八國

播磨 美作 備前 備中 備後

安藝 周防 長門

南海道六國

紀伊 淡路 阿波 讚岐 伊豫

土佐

西海道九國

筑前 筑後 豊前 豊後 肥前

肥後 日向 大隅 薩摩附琉球

二島

壹岐 對馬

北海道十一國

渡島ワタシマ 後志コシ 石狩イシノリ 天塩テンシ 北見キタミ

膽振ニハ 日高ヒタカ 十勝トカチ 釧路クニロ 根室ニホ

千島チシマ 附樺太

畿内ノ境界ハ如何ン

東ハ東海東山ノ二道ニ連リ、南ハ南海道、

西ハ山陽道、北ハ山陰道ニ界シ、西南ハ大

坂ノ湾ヲ抱ク、上古ヨリ歷代ノ 天皇、都

シ玉ヒシ所ナリ、

東海道ハ如何ン

南ハ太平洋ニ面シ、北ハ東山道、西ハ畿内

ニ界シ、南北狭クシテ東西長シ、

東山道ハ如何ン

南ハ東海道、西ハ畿内ニ界シ、北ハ北陸道

ニ接シ、極北ハ津輕峽ヲ隔テ、北海道ト相對シ、南北長クシテ、稍彎形ヲナス、

北陸道ハ如何シ

南ハ東山道、西ハ山陰道ニ界シ、北ハ日本海ニ面シ、東西長クシテ南北狹シ、

山陰道ハ如何シ

東ハ北陸道、及ヒ畿内、南ハ山陽道ニ界シ、北ハ日本海ニ面シ、形北陸ニ似タリ、

山陽道ハ如何シ

東ハ畿内、北ハ山陰道ニ界シ、南ハ内海ヲ隔テ、南海道ト相對シ、西端ハ赤間關峽ヲ隔テ、西海道ニ密通シ、形山陰ニ同シ、

南海道ハ如何シ

南ハ太平洋ニ面シ、東ハ畿内、及ヒ東海道ニ界シ、北ハ内海ヲ隔テ、山陽道ト相對シ、西ハ豊後峽ヲ隔テ、西海道ト相望ム、

西海道ハ如何シ

東ハ豊後峽ヲ隔テ、南海道ト相對シ、北ハ

赤間關峽ヲ隔テ、山陽道ト相望ミ、餘ハ皆  
海ニ面ス、

北海道ハ如何ン

南ハ津輕峽ヲ隔テ、東山道ト相對シ、北ハ  
知主峽ヲ渡リ、魯西亞領地ト相接シ、西ハ  
日本海ニ面シ、東ハ<sup>オホ</sup>疇<sup>コ</sup>斯<sup>ス</sup>科<sup>ク</sup>海ヲ隔テ、東<sup>カシ</sup>  
察<sup>サツ</sup>加<sup>カ</sup>ト相望ム、

官省ノ制ハ如何ン

大政官ハ、國政ノ出ル所ナリ、外務省、内務

省、大藏省、陸軍省、海軍省、文部省、教部省、工  
部省、司法省、宮内省、開拓使、等アリテ諸務  
ヲ分チ掌ル

府縣ハ如何ン

三府六十縣アリテ國內ヲ分管ス

三府

東京 武藏 京都 山城 大坂 攝津

六十縣

神奈川 武藏 兵庫 攝津 長崎 肥前 新瀉 越

後 埒 玉武藏 足柄相摸 千葉下總 新治 常  
 陸 茨城 常陸 熊谷上野 朽木下野 奈良大  
 和 堺 和泉 三重 伊勢 度會 同 愛知 尾張  
 濱松 遠江 靜岡 駿河 山梨 甲斐 滋賀 近江  
 岐阜 美濃 筑摩 信濃 長野 同 宮城 陸前  
 福島 岩代 磐前 磐城 若松 岩代 水澤 陸中  
 岩手 同 青森 陸奥 山形 羽前 置賜 同  
 酒田 羽後 秋田 同 敦賀 越前 石川 加賀  
 新川 越中 相川 佐渡 豐岡 但馬 鳥取 因幡

島根 出雲 濱田 石見 飾磨 播磨 北條 美作  
 岡山 備前 小田 備後 廣島 安藝 山口 周防  
 和歌山 紀伊 名東 阿波 愛媛 伊豫 高知 土  
 佐 福岡 筑前 三潞 筑後 小倉 豊前 大分 豊  
 後 佐賀 肥前 白川 肥後 宮崎 日向 鹿兒島  
 薩摩

京城ハ何ノ地ニ在ルヤ

上古ハ日向ニ都ス、神武天皇ニ至リ、始  
 テ東征シテ大和ニ入り、橿原ニ都ヲ建テ

玉ヲ其後世々ノ 天皇屢々都ヲ遷シ玉  
ト大和ニ在ル者凡ソ三十所其他近江攝  
津長門河内等ニ散在ス五十代ノ 桓武  
天皇ニ至リ山城ノ平安城ニ都ヲ定メ玉  
フ今ヲ去ルコト千零八十一年ナリ是ヨ  
リ以來世々ノ 天皇皆此地ニ都シ玉フ  
明治二年 今上天皇武藏ノ江戸ニ幸シ  
此地ヲ以テ東京ト定メ玉ヒ官省ヲ建テ  
全國ヲ治メ玉フ

東京ハ如何ン

北緯三十五度三十五分ニ在テ面積凡ソ  
十二方里中央ニ皇城アリ西北ハ所謂ル  
武藏野ニシテ一望涯リナシ東南ハ海灣  
ニ臨ミ隅田川北ヨリ流レテ海ニ入ル其  
上ニ求代橋新大橋兩國橋東橋等ヲ架シ  
數多ノ溝アツテ海ニ通シ運送ヲ便ニス  
貿易繁盛ニシテ百貨備ハラザル物ナシ  
議院學校病院貧院幼院電信等ノ設ケア



リ、又西南橫濱ヲ距ル七里ノ間、鐵道ヲ開  
キ、往來ノ衆客、凡ソ一日四千人ヲ下ラス、  
此地、徳川氏ノ盛ナル時ハ、人口百五十万  
ト号ス、戊辰ノ大變革アツテ、一旦大ニ衰  
ヘシガ、現今ハ次第ニ盛大ニ赴キ、概數百  
万ヲ下ラス、亞細亞洲中、支那ノ北京ヲ除  
ク外、其比ヒテ見ザルナリ、

西京ハ如何ン

北緯三十五度五分、西經四度十分ニ在リ、

東京ニ比スレハ、狹小ナレド、街衢端正ニ  
シテ、道路洞通シ、鴨川ノ清流、其東面ニ横  
タハリ、荒神口、三條、四條、五條、ノ四大橋ヲ  
架セリ、地勢平坦ニシテ、東西北三面ハ皆  
山ナリ、西ハ嵐山、東ハ東山等、風景甚愛ス  
ヘシ、古來ノ都タルヲ以テ、壯觀ナル社寺  
甚多シ、又絹帛錦繡ノ製造所アリ、學校ノ  
數甚多ク、文教盛ナリ、人口凡ソ三十七万  
餘アリ、

二京ニ次ク者ハ如何シ

攝津ノ大坂是ナリ北緯三十四度四十五分西經四度十八分ニ在リ、東北京都ヲ距ルコト凡十三里西南ハ海ニシテ東ハ山ヲ帶ブ、京都ニ比スレハ稍大ナリ、古昔仁徳天皇ノ都シ玉ヒシ所ナリ、豊臣大閤ノ築ケル所ニシテ、壁高ク濠深ク、本邦ノ名城ナリシガ、戊辰ノ變、兵火ニ罹リ、城内皆灰燼トナリ、只遺礎ヲ存スルノミ、淀河

其間ヲ貫流シ、溝渠甚多ク運送極メテ便ナリ、難波、天満、天神ノ三大橋アリ、其他小橋ハ數フベカラス、港口淺クシテ洋船ヲ浮ベズト雖、日本船ノ出入スル、日ニ數百ヲ下ラス、實ニ殷富ノ地ナリ、

風俗ハ如何シ

人民ハ門地ヲ以テ類ヲ分ツ、華族、士族、平民、ノ三等アリ、言語ハ本邦ノ語アツテ、他國ト同シカラズ、然レ今日ノ語ハ、轉訛シ

テ古言ト異ナリ、上古ハ言語アツテ文字  
ナシ、千六百年前、應神天皇ノ時、支那ノ  
文字ヲ傳ヘシヨリ、其學大ニ開ケ、士人概  
子講習セザル者無シ、然レ之ヲ讀ムニ國  
音ヲ以テシ、支那ノ讀法ト同ジカラズ、今  
日用ユル所ハ、支那ノ文字ヲ主トス、別ニ  
五十音ノ國字有レ、本支那ノ字ヲ析ツ  
テ作リシモノナリ、近來歐洲諸國ノ學ヲ  
講スル者多シ、其中英佛獨等最モ盛ナリ、

トス、家屋ハ板簀ヲ高クシ、厚席ヲ其上ニ  
鋪ク、坐スルヲ以テ禮トス、服ハ長衣濶袖、  
絹帛綿布ヲ以テ之ヲ製ス、士人ハ袴ヲ着  
ケ、雙刀ヲ帶ビ、婦人ハ大帶ヲ着ク、男子ハ  
額髮ヲ剃リ、結髮シ、婦人ハ簪櫛ヲ挿ミ、紅  
粉ヲ粧フ、近來歐洲ノ風ニ倣ヒ、斷髮窄袖  
スル者多シ、教法ハ神教佛教アリ、士人ハ  
儒教ヲ奉ス、製造ハ各種ノ絹帛、漆器、磁器、  
刀劍等、世界有名ノ品ナリ、其中漆器ヲ第



石類ヲ出ス甚多シ、

本邦ノ開ケシハ何ノ時ナルヤ

上古神代ノ事ハ、詳ニスベカラス、神武

天皇海内ヲ平定シ、位ニ即キ玉ヒシヨリ、

今年ニ至ル迄、二千五百三十四年ニシテ、

今上帝ハ百二十三代ノ天皇ナリ、其舊國

タル以テ知ルベシ、

琉球ハ何ノ時我邦ニ属セシヤ

國王尚寧ノ時、島津家久、徳川氏ノ命ヲ受

ケ之ヲ招ケ来ラズ、因テ之ヲ伐ツ、新納

一氏少ナル時、偽テ賈人ト為リ、此地ニ至

リ、地形ヲ識ル、故ニ一氏ヲシテ八千ノ兵

ヲ率ヒ、連戦シテ都城ヲ陥レ、尚寧ヲ擒ニ

シケレバ、乃チ降服ス、徳川氏此地ヲ以テ

家久ニ賜フ、時ニ慶長十四年ニシテ、今ヲ

距ルコト、二百六十五年ナリ、是ヨリ世々

島津氏ニ附属ス、明治五年、朝廷邸ヲ東京

ニ賜ヒ、琉球藩王ニ封ズ、

小笠原島ハ何ノ時發見セシヤ

文祿年中、豊臣大閤小笠原貞頼ヲシテ、洋中ノ島嶼ヲ索テ領地トセシム、貞頼遂ニ此地ヲ發見シ、其所領トス、今ヲ距ルコト二百七十九年ナリ、寛永年中、航海中絶ス、貞頼ノ裔貞任上書シテ、島ヲ檢センコトヲ乞フ、後五年ヲ經テ、貞任ノ姪長晁、此地ニ至リ、其産物ヲ載セテ歸ル、其後航海又絶ユ、文久中、幕府水野筑後守ヲ遣シ、島中

ヲ檢セリ

外國ト互市スルハ何ノ時ニ始レルヤ

天文十一年、ホルチカ葡萄牙人「ピント」始テ來船シ、次年、商船ヲ送り、長崎港及ヒ九州ノ地方ニ來リ、互市ヲ為シ、次テ同國ノ教師來リ、異教ヲ民間ニ傳フ、慶長年中、英吉利、荷蘭ノ商船來リ、互市ヲ為シ、其間又異教ヲ傳フル者アリ、遂ニ島原ノ亂アリ、此ニ於テ、獨リ支那荷蘭ノ互市ヲ許シ、餘ハ皆嚴

禁ス嘉永二年始テ合衆國ト交通セシヨ  
リ遂ニ各國ト條約ヲ結フニ至レリ輸出  
品ノ大ナルハ茶、絲、蠶紙、漆器、磁器、昆布、等  
ナリ

同盟諸國ハ如何ン

合衆國、荷蘭、魯西亜、英吉利、佛蘭西、葡萄牙、  
日耳曼、瑞士、白耳義、伊太利、暹馬、西班牙、瑞  
典、澳太利亞、布哇、秘魯、清、等ノ十七國ナリ、

小學地理書卷一終